

A portrait of a middle-aged man with grey hair, wearing a dark suit, white shirt, and a striped tie. He is looking directly at the camera with a slight smile. The background is a soft, out-of-focus pink and white bokeh.

令和5年度は、利府町総合計画の3年目となる年であることから、本町のさらなる発展に向け、総合計画のキャッチフレーズである「もっと先へ、チャレンジ利府！～みんなの夢がかなうまち～」を合言葉に、町民の皆さま一人ひとりが幸せを実感できる持続可能なまちづくりを戦略的に進めてまいります。

令和5年度の重点施策に掲げた5つの柱の主な取組についてお知らせします。

1つ目の柱 快適に暮らせる都市空間づくり



主な事業

- 都市計画事業
- 道路整備計画策定事業
- 町道及び生活道路整備・維持管理事業
- 公営住宅建替事業
- 総合交通対策事業
- (仮称)中央児童センター整備事業
- 明神沢溜池改修事業
- 地球温暖化対策実行計画策定事業
- 塵芥収集事業

本町のさらなる発展と将来のまちづくりを見据えた持続可能な都市基盤の構築に向け、交通渋滞の緩和やアクセス向上を図るため、昨年度から引き続き道路整備計画の策定をするとともに、公共交通の利便性向上や利用促進に向け「利府町地域公共交通計画」の策定に着手します。

十符の里プラザ跡地の再整備については、(仮称)中央児童センターおよび郷土資料館の改修工事を開始するとともに、生涯学習センター跡地の利活用については、周辺地域の活性化に寄与できるよう検討を進めます。

老朽化が著しい公営住宅の建替えに当たっては、費用対効果の高い整備を実施できるよう、事業スキームの精査や事業手法について検討するため、PPP・PFIの導入可能性調査を実施します。

安心安全な生活環境づくりについては、大地震や豪雨など、いつ発生するか予測できない自然災害に備えるため、将来を見据えた雨水対策の実施や「利府町地域防災計画」に基づく地域の防災力強化を促進し、より一層防災対策を促進します。

「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、豊かな環境を次世代に引き継いでいくための具体的な目標や方向性を示す「利府町地球温暖化対策実行計画」を策定します。

2つ目の柱

子どもたちがすこやかに育つまち

主な事業

- ベビーファースト推進事業
- 小中学校給食費無料化事業
- 子ども医療費助成事業
- 教育・保育施設等第3子以降給食費助成事業
- 特定教育・保育施設運営事業
- 児童クラブ運営事業
- ICT教育推進事業
- 小・中学校入学支援事業



県内自治体において初めて行った「ベビーファースト宣言」に基づき、結婚、出産、子育てまで切れ目のない支援の充実を図ります。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、これまで実施してきた小中学校入学時の運動着支給などに加え、新たな本町独自の子育て支援策として小学校6年生および中学校3年生を対象に「小中学校給食費無料化事業」を実施します。また、待機児童の解消と保育の質の向上を図るため、新たな民設民営による幼保連携型認定こども園の整備に着手します。

小中学校におけるICT教育を推進するため、町内小中学校に学習支援システムを導入し、時代に即した教育環境の充実を図ります。

結婚して家庭を持ちたいと考えている方々の希望が叶えられるよう、関係機関と連携した結婚相談会の開催や、出会いの場を提供する結婚活動イベントを実施し、結婚活動支援策の充実を図ります。

3つ目の柱 魅力満載なおもてなしとにぎわいのあるまち



主な事業

- 中小企業金融支援事業
- 新事業チャレンジ応援事業
- ALL RIFU 産業祭事業
- JAF観光連携推進事業
- スポーツ流鎗馬推進事業
- 地方総合戦略推進事業
- 地域おこし協力隊推進事業
- 地域おこし協力隊就農支援事業
- 特別名勝松島観光誘客環境整備事業

「本町を「知る」「来る」「住む」の3つの戦略を進めるため、「ALL RIFU 産業祭」「TGRラリーチャレンジ」、「利府ラリー」、「スポーツ流鎗馬大会」などのイベントの開催や、観光客が増加している表松島「馬の背」の駐車場整備等に係る実施設計業務に着手し、より一層、観光資源のPRをするとともに、「回遊」をキーワードにした施策を展開します。

委託型地域おこし協力隊事業を実施し、事業継承者不足が課題となっている海苔やわかめ、牡蠣づくりの後継者と体験型観光の振興を担う人材育成につなげ、水産業に体験をプラスした新しい形の観光振興に取り組みます。

町内の中小企業を支援するため、生産性向上や販路開拓、新商品の開発等に対し補助を行う新事業チャレンジ応援事業を実施し、地域経済の活性化や経済振興に努めます。

本町の特産品である利府梨の増産を図るため、令和6年度からの本格的な整備工事にに向けた準備や運営に係る制度設計について、農業法人や梨生産者等の関係機関と連携しながら「梨団地」の整備を進めます。

4つ目の柱

新しい芸術文化を創るまち

主な事業

- 文化交流センター管理運営事業
- 利府町スポーツ推進計画策定事業
- 生涯学習・社会教育事業
- 体育施設等指定管理事業
- JAF観光連携推進事業(再掲)
- スポーツ流鎗馬推進事業(再掲)



リフノスを文化芸術の拠点として、人材育成や団体活動の支援発表の機会を図っていくとともに、「十符の菅簾伝承事業」などを実施し、シビックプライドの醸成を図ります。

本町独自の新たな文化を創造するため、「TGRラリーチャレンジ」や「利府ラリー大会」、「スポーツ流鎗馬大会」を開催するとともに、女性アスリート応援事業を実施し、さらなるスポーツ文化の定着を図ります。

新しいスポーツ文化の創造やスポーツ振興を総合的かつ計画的に推進し、本町の生涯スポーツ活動の普及・振興に努めるため、「利府町スポーツ推進計画」を策定します。

5つ目の柱

みんなで協働のまちづくりを進めるまち

主な事業

- 総合情報化事業
- ふるさと応援寄附金支援事業
- ふるさとPR事業
- 広報・広聴事業
- 町史編さん事業
- 地域おこし協力隊推進事業(再掲)



各種団体や民間事業者等との官民連携事業を実施するとともに、様々な分野の地域おこし協力隊を任用する委託型地域おこし協力隊事業を実施し、多様化する地域課題の解決や地域活性化を促進します。

「デジタル推進室」を設置し、オンライン申請の拡充やAI・RPAの導入に着手するなど、本町のDXを推進するとともに、民間事業者と連携した町民向けのスマホ教室を開催するなど、誰もがデジタル化による豊かさを実感できるデジタル社会の実現に向けた取組を進めます。

ふるさと納税の一層の拡大を図るため、これまでの取組に加え、リピーター確保のための積極的な広告・情報発信や「企業版ふるさと納税」のさらなるPRに取り組み、自主財源の確保につなげます。